

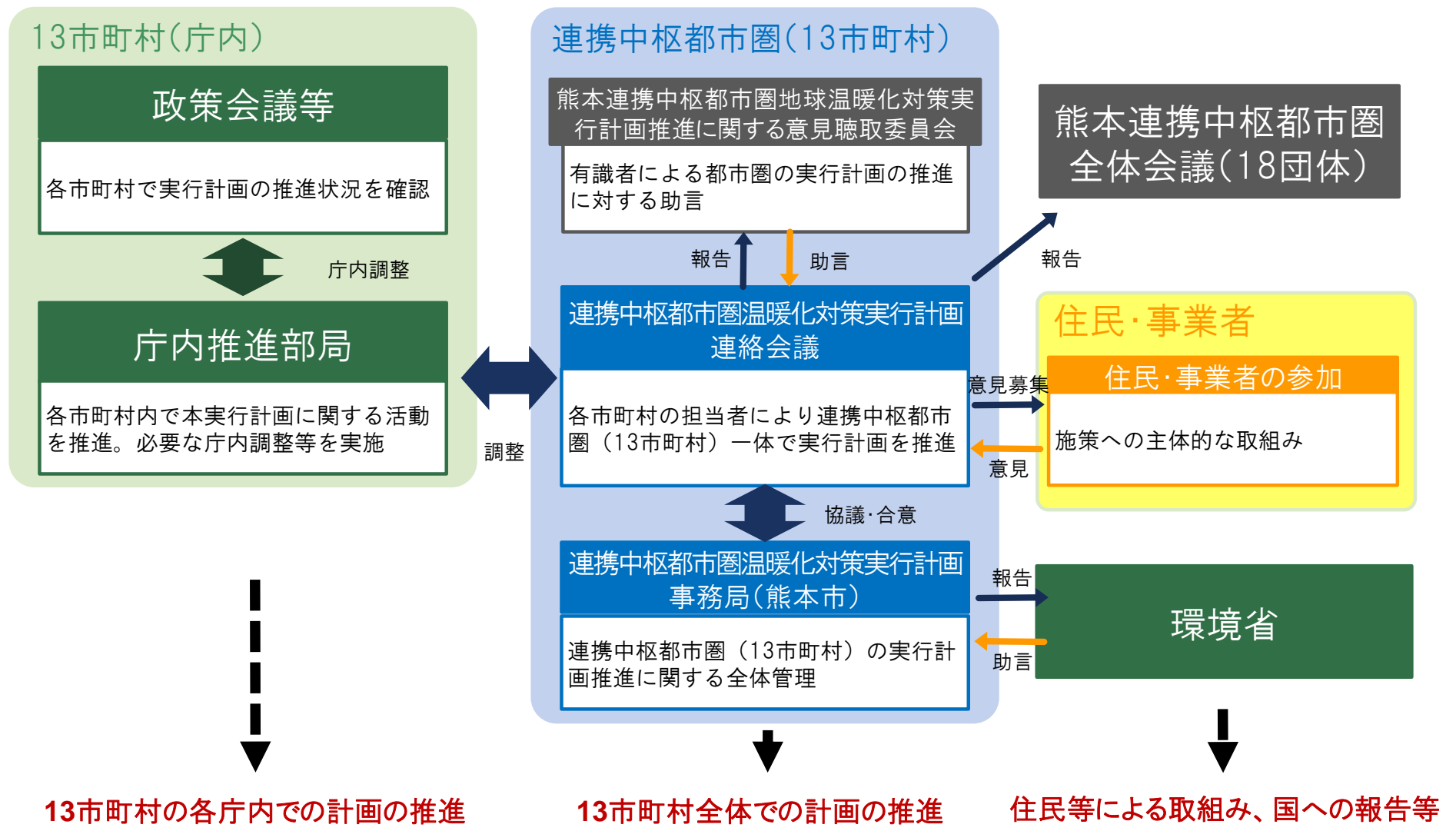
第3回熊本連携中枢都市圏 地球温暖化対策実行計画策定に関する 意見聴取委員会

進捗管理の概要

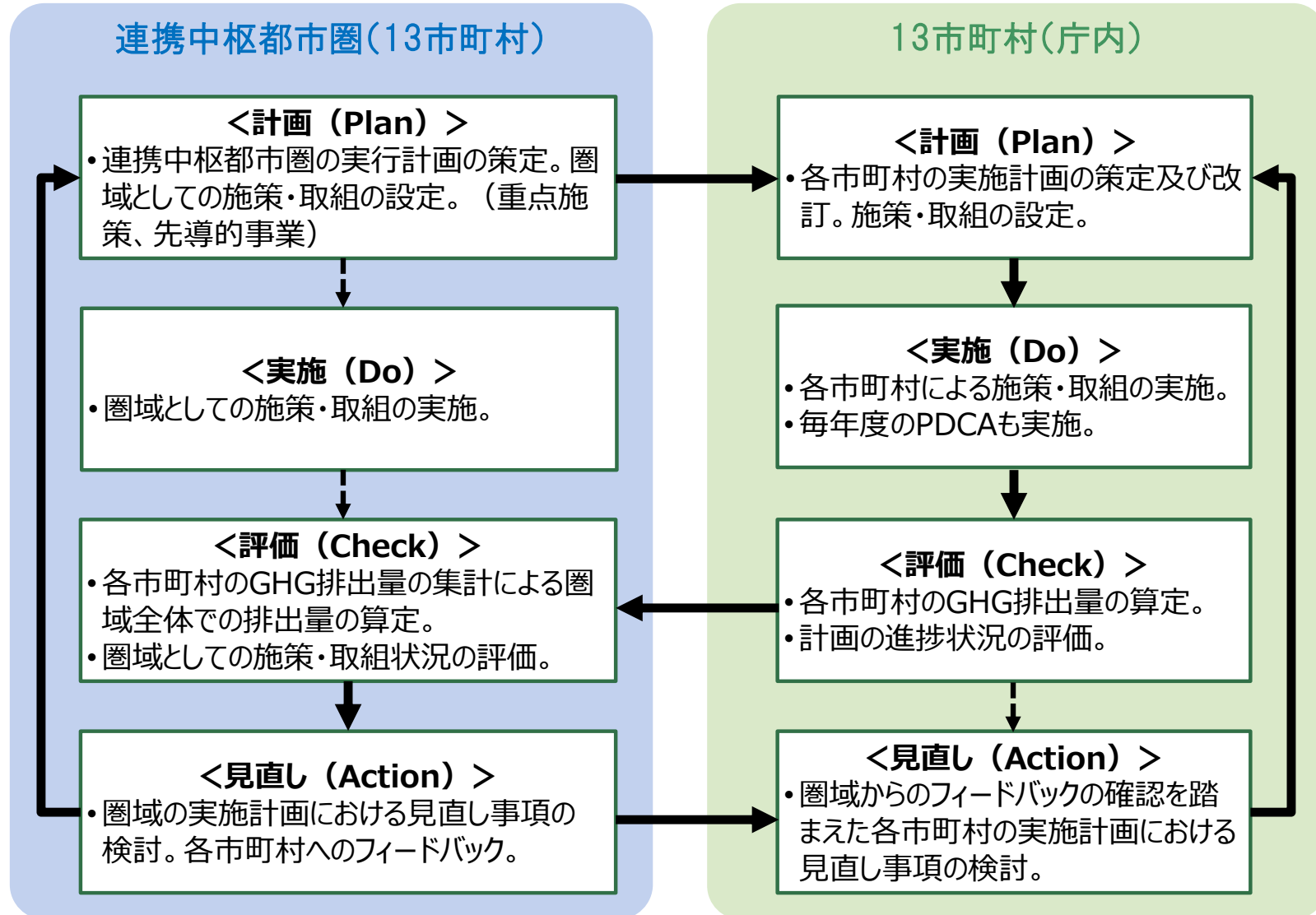
2019年12月23日

熊本連携中枢都市圏温暖化対策実行計画
事務局

1. 計画の推進体制・進捗管理（計画の推進体制）



2. 計画の推進体制・進捗管理（PDCAサイクル案）



3. 計画の推進体制・進捗管理（施策の取組状況の確認案）

本計画における、13団体の施策の取組は、取組毎の「施策シート」に目標値が設定されている。
 施策の進捗状況の確認は、年1回を目途に取組の実績値(件数等)を把握し、「施策シート」によって報告する。

【施策シートの例】

別紙 4

熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画：施策シート（記載例）

市町村名	熊本市
所管課（室）	温暖化・エネルギー対策室
記入担当者	
電話番号	

1. 施策概要

策	エコオフィスの普及促進	部門	業務その他部門
取組	新築建築物の省エネ・再エネ活用促進		
取組内容	(例1) 【事業名：省エネルギー建築物導入促進事業】 事業者が建築物を新築・改築する際に、より高い省エネルギー性能を有する建築物としての建築や再生可能エネルギーを活用した建築物を普及させることを目的に、事業者に対し、説明会の開催やリーフレットを配布し、事業者の地球温暖化対策に関する意識の醸成を図る。また、高効率照明や高効率空調等の省エネルギー設備の設置に対して補助を交付し、事業者のエネルギー消費量の低減を図る。 (例2) 【事業名：再生可能エネルギー等設備設置事業】 市が建築物を新築・改築する際に、再生可能エネルギーや蓄電池を設置することにより、地球温暖化対策の推進とともに、災害に強い自立・分散型のエネルギーシステムを構築する。		

2. 指標と目標

指標及び目標		単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
1	普及促進に向けた情報発信回数	目標値	回	3	3	3	3	3	3
		実績	回	5	-	-	-	-	-

↓

年1回を目処に報告

2. 指標と目標 (詳細)

指標及び目標	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
1 普及促進に向けた情報発信回数	目標値	回	3	3	3	3	3	3
	実績	回	5	-	-	-	-	-
2 省エネ設備の補助件数	目標値	件	50	50	50	50	50	50
	実績	件	40	-	-	-	-	-
3 太陽光発電設備の導入容量 or 太陽光発電設備の導入	目標値	kW (-)	10 (-)	20 (-)	30 (-)	40 (-)	50 (-)	60 (-)
	実績	kW (-)	20 (-)	-	-	-	-	-

3. 過年度の具体的な実施状況（新規事業の場合は不要）

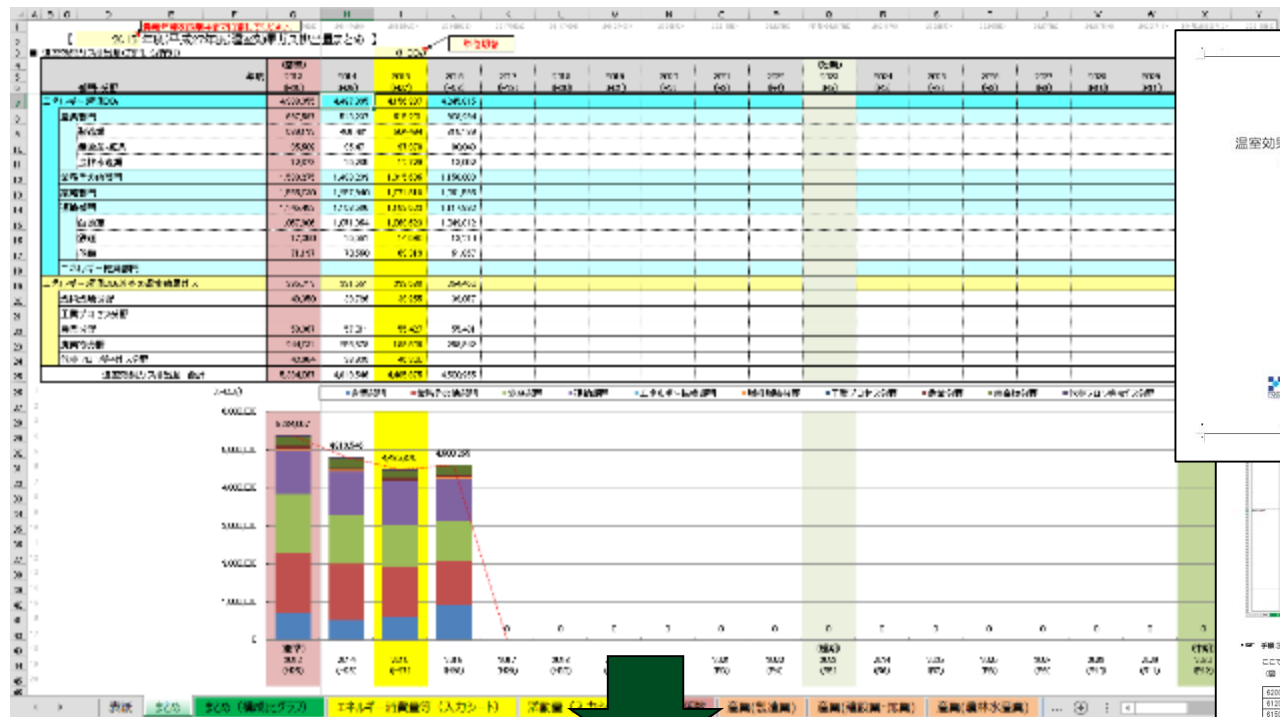
2018年度の実施状況

(例1)
 省エネ・再エネに関する啓発パンフレットを〇〇部作成し、合計〇〇事業者に配布した。また、セミナーを〇〇開催し、合計〇〇事業者に対して啓発を行った。また、高効率照明設備〇〇件、高効率空調設備〇〇件、高効率ボイラー〇〇件の補助を行った。
 (例2)
 〇〇施設に太陽光発電設備〇〇kW、〇〇施設に太陽光発電設備〇〇kW、△△施設に蓄電池△△kWを導入した。

4. 計画の推進体制・進捗管理（排出量の算定）

本計画における、13団体の排出量の算定は、「温室効果ガス排出量算定ツール」によって把握する。
温室効果ガス排出量の確認は、年1回を目途に「算定ツール」によって算定し、報告する。

【温室効果ガス排出量算定ツールの例】



年1回を目処に報告

温室効果ガス排出量算定ツール
操作マニュアル
(43100 熊本市)

2020年3月
復建調査設計株式会社
FUKUKI COLYTE

温室効果ガス排出量算定にあたっては、算定に必要なデータの入手方法や、値の入力方法を説明した算定マニュアルを各団体ごとに用意している。

60000 E	数値表	
61000 C	燃費	
61000 D	燃費表	Code:700 電力
611000 AB	燃料消費量	
60000 F-B	業務用(真正水素)	
70000 X	単位	